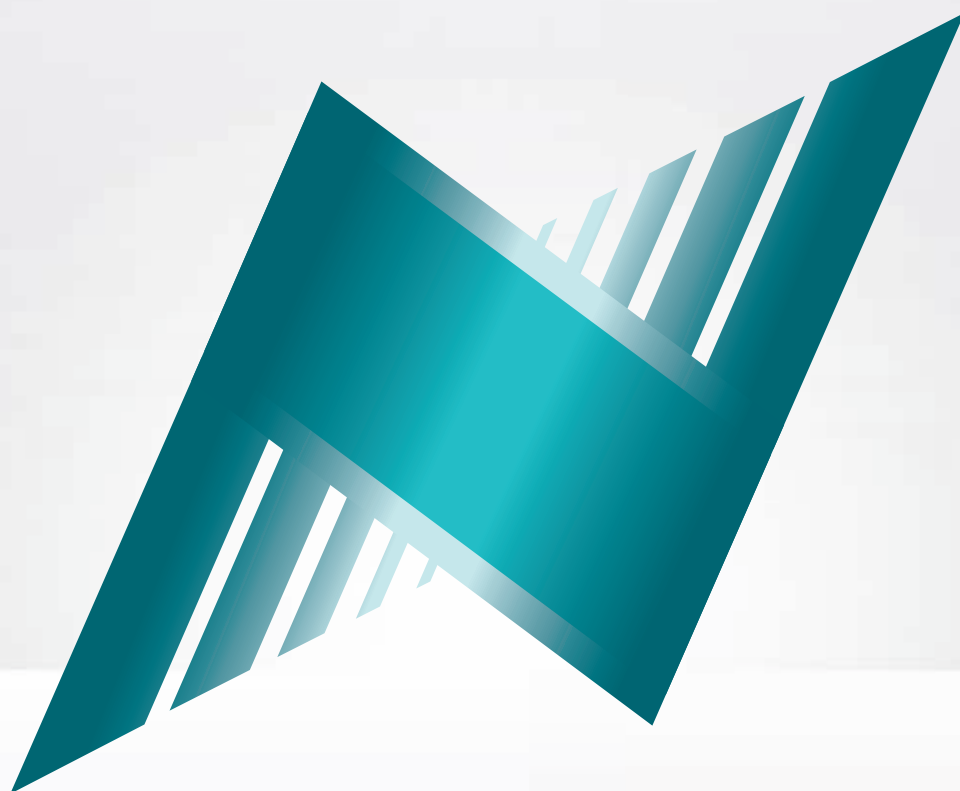


統合レポート 2018



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社



Nissan Chemical
CORPORATION

日産化学株式会社

未来のための、はじめてをつくる。 **日産化学**

日産化学の目的は、
人と社会の未来を、希望と幸福で満たすことです。

日産化学の価値は、
自由な発想と創造力で、いままでにない新しい感動を生み出すことです。

日産化学の誇りは、
化学の可能性を信じて、次々と不可能へ挑むスペシャリストの社員たちです。

このようにして、
日産化学は世界になくてはならない会社へ進化を続けます。

〔コーポレートロゴ〕

「N」をモチーフに光り輝く星をデザインしたシンボルマークは、創造力の融合を表しており、無数のアイデアが重なり合って新しい発見が生まれ、未来への扉が開かれ成長する姿を示しています。色は知的で信頼性のあるエメラルドグリーンを採用しています。

企業理念体系

社是(価値観)

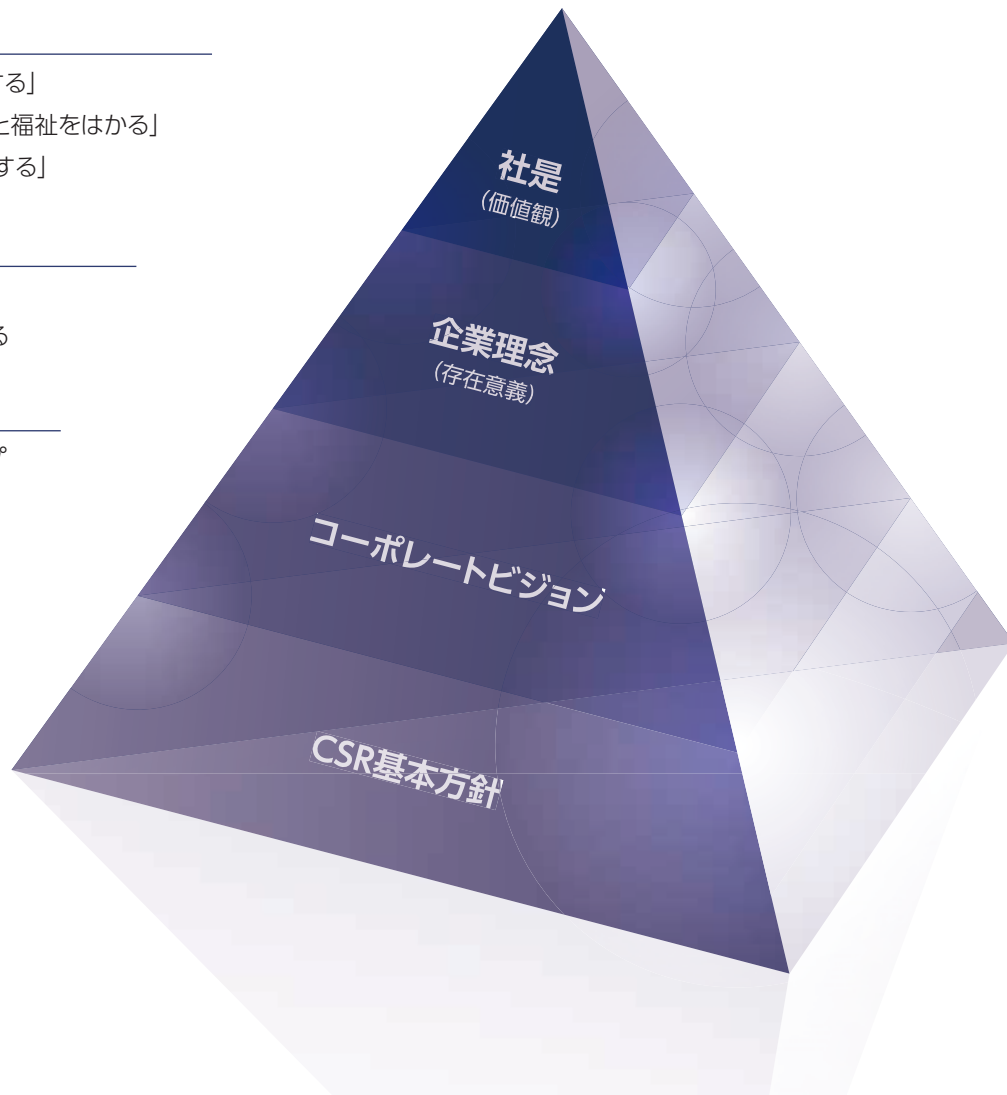
「すぐれた技術と製品によって社会に貢献する」
「力をあわせてつねに新分野を開発し繁栄と福祉をはかる」
「創意と気魄に富み責任感あるものを尊重する」

企業理念(存在意義)

優れた技術と商品・サービスにより、
環境との調和を図りながら、社会に貢献する

コーポレートビジョン

人類の生存と発展に貢献する企業グループ



CSR基本方針

- (1) 法令を遵守し、国際社会の一員として良識ある事業活動を行います
- (2) 有用で安全な商品とサービスを提供し、企業価値の増大を図ります
- (3) 無事故・無災害、そして地球環境の保全に積極的に取り組みます
- (4) ステークホルダーとの対話を重視し、適切に情報を開示します
- (5) 従業員の個性と人格を尊重し、明るく働きやすい職場を作ります
- (6) よき企業市民、よき社会人として行動します

本レポートの編集方針

当社は1992年からレスポンシブル・ケア活動を開始し、その内容を1999年より「環境・安全報告書」、2013年からは「CSRレポート」、2015年からは事業概要、財務データのハイライトを加えた「アニュアルレポート」として公表してきました。

株主・投資家の皆様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様に当社グループの中長期的な価値創造についてより分かりやすくお伝えするため、本年より、統合レポートとして事業概要や E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）情報に加え、マテリアリティ、価値創造プロセス、詳細な財務情報を掲載いたしました。

今後も、事業活動を深化させるとともに報告内容を充実させることで、本レポートが当社グループの活動をステークホルダーの皆様にご理解いただくための有用なコミュニケーションツールとなることを目指していきます。

対象期間

2017年度(2017年4月～2018年3月)

*労働災害データ(P62)は2017年1月～12月

対象範囲

日産化学株式会社の企業活動における財務データ、ESG情報を中心に、当社グループの取り組みを記載しています。

*財務データには当社および連結子会社、持分法適用関連会社を含みます。当社グループにおける日産化学株式会社単体のカバー率は76%（売上高比率）です。

*非財務データは当社単体の数値です。

予想・見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されています。従って、実際の業績は、さまざまな重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

連結子会社：

日星産業(株)、日産物流(株)、日産緑化(株)、日産エンジニアリング(株)、日本肥糧(株)、Nissan Chemical America Corporation (NCA)、Nissan Chemical Europe S.A.S. (NCE)、NCK Co., Ltd. (NCK)

持分法適用関連会社：

サンアグロ(株)、クラリアント触媒(株)

グループ会社：

上記子会社、持分法適用関連会社に加え、
(株)環境技術研究所、台湾日産化学股份有限公司 (NCT)、
日産化学制品(上海)有限公司 (NCS)、
Nissan Chemical Agro Korea Ltd. (NAK)、
Nissan Chemical Do Brasil (NCB)、
Nissan Agro Tech India PVT.LTD. (NAI)、
日産化学材料科技(苏州)有限公司 (NSU)

● 発行時期 2018年10月(前回発行 2017年9月、次回発行予定:2019年9月)

● 発行頻度 毎年

● 参考にしたガイドライン

・国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」 ・GRIサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン・スタンダード

・ISO26000 ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

● 報告書に対する質問の窓口

日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室

TEL: 03-4463-8123 メールアドレス: csr_pr@nissanchem.co.jp

CONTENTS

02	企業理念体系	57	水資源の有効利用/排水の管理
03	編集方針	58	排ガスの管理/揮発性有機化合物・廃棄物・ PRTR法対象物質の排出削減
05	会社沿革(日産化学のあゆみ)	59	生物多様性保全
07	財務ハイライト	61	保安防災・労働安全衛生
09	非財務ハイライト	63	化学物質・製品安全
戦略			
11	トップメッセージ	社会とのコミュニケーション	
15	長期経営計画『Progress2030』ならびに 中期経営計画『Vista2021』	65	ステークホルダーへのコミットメントと対話
19	マテリアリティ(重要課題)の特定	65	お客様とのかかわり
21	価値創造プロセス	67	取引先とのかかわり
製品紹介			
23	社会のなかで活躍する日産化学の主要製品	68	株主・投資家とのかかわり
25	環境配慮型製品	69	地域・社会とのかかわり
事業概要			
27	機能性材料事業	71	従業員とのかかわり
29	農業化学品事業	財務データ	
31	医薬品事業	75	財務データ
33	化学品事業	83	連結財務諸表作成のための基本となる 重要な事項
35	新事業企画	88	英文統合レポートの発行および 監査について
37	研究開発	会社情報	
コーポレート・ガバナンス			
39	コーポレート・ガバナンス	89	国内外拠点
39	役員一覧	92	会社概要/株式の状況
41	基本的な考え方/体制の概要	93	GRI内容索引
42	役員候補選任の方針と手続		
43	役員報酬/取締役会の実効性評価		
44	CSRの推進		
45	コンプライアンス		
47	リスクマネジメント		
レスポンシブル・ケア(RC)活動			
49	RCマネジメント		
49	RCマネジメントシステム		
50	RCに関する基本方針 / RC監査		
51	RC中期計画(2016-2021年度)の推進		
53	環境安全・気候変動対策		
53	事業活動による環境負荷		
54	環境会計・安全会計		
55	温室効果ガスの排出削減		
56	エネルギー使用量、原単位		